

気象教育研究連絡会「Geer 氏特別講演会」のお知らせ

標記講演会を秋季大会2日目に開催します。奮ってご参加ください。(本講演は英語で行われます)

日時：10月19日(木) 17時30分(シンポジウム終了後すぐ)～18時30分

場所：京都テルサ第1会議室

題目：「アメリカ気象学会の挑戦！—教育プログラム実施の経緯と活動」(仮題)

講演者：Ira W. Geer 博士

講演者略歴：

1961-1991 ニューヨーク州立大ブルックポートカレッジ教授

1991-現在 アメリカ気象学会教育プログラム・ディレクター

1992 アメリカ気象学会特別賞
「初・中等レベル気象教育の向上を図る先駆的研究」に対して

開催趣旨：アメリカでは1980年代後半から‘科学的リテラシー’の育成をめざした科学教育の改革が進め

られ、『国家科学教育基準』などが発表されている。このような流れの中で、アメリカ気象学会では専任のスタッフを置いて、先見的な教育プログラムに1991年から取り組んでいる。指導的教員向けのワークショップや各種指導資料の開発などで、インターネットの積極的活用も図られている。本講演では、アメリカ気象学会が教育プログラムを行うようになった経緯及び実際に行っているプログラムの内容、プログラムの成果などをお話いただく。多くの会員にご参加いただき、気象教育の活性化を図る契機としたい。

関連文献：高橋庸哉，1999：アメリカ気象学会の教育普及プログラムについて，天気，46，231-235.

担当：高橋庸哉

(北海道教育大学，TEL：011-778-0293，
e-mail：takahasi@sap.hokkyodai.ac.jp)

山下 晃 (大阪教育大学)

坪田幸政 (慶應義塾高校)

≡≡≡支部だより≡≡≡

2000年度北海道支部気象講演会のお知らせ

テーマ『北海道の農業と気象』

日時：2000年10月28日(土) 午後1時～午後4時30分

場所：酪農学園大学 中央館学生ホール(入場無料)
江別市文京台緑町582 (JR 大麻駅南口 徒歩約10分)

講演内容：4名の講師により、一般市民を対象に気象と農業との関わり、気象災害および気候変化の影響等について講演する。

①「北海道の気候の特徴と農業生産技術を考える」
北海道農業試験場研究交流科 科長 山田一茂

②「気象情報の農業への利活用」

日本気象協会北海道支社営業部 課長 編蔵 真

③「古代人の食生活復元から考える気候変化の影響」
北海道大学地球環境科学研究科 教授 南川雅男

④「北海道の気象災害—石狩川洪水を中心に—」
札幌管区気象台気候・調査課 課長 若原勝二

主催：日本気象学会北海道支部

後援：江別市，江別市教育委員会，酪農学園大学，
NHK 札幌放送局，北海道新聞社，日本気象協会北海道支社